

(仮称)新九段生涯学習館基本構想検討会(第1回)

議事要旨

【開催概要】

日時：令和7年7月14日(月)午後2時00分～午後4時30分

場所：千代田区役所本庁舎6階特別会議室

委員長：国際基督教大学 教養学部 アーツ・サイエンス学科 教授 佐藤 千津

委員：千代田区文化芸術協会 新井 巖
千代田区障害者共助会 清水 水尾
社会教育委員 庄司 由美子
千代田区文化連盟 野田 健一郎
千代田区青少年委員 村木 さをり

オブザーバー：株式会社小学館集英社プロダクション(指定管理者) 4名

事務局：地域振興部生涯学習・スポーツ課 5名

【次第】

- 1 開会
- 2 委員自己紹介
- 3 委員長の選出
- 4 議題
 - (1) 検討会の設置目的について
 - (2) 策定趣旨
 - (3) 検討会の進め方について
 - (4) 現施設の状況について
 - (5) 九段生涯学習館を取り巻く環境について
 - (6) (仮称)新九段生涯学習館のめざす姿・基本方針について
 - (7) その他
- 5 事務連絡
今後の予定
- 6 閉会

【資料】

- 資料1 (仮称)新九段生涯学習館基本構想検討会 委員名簿
資料2 (仮称)新九段生涯学習館基本構想検討会設置要綱
資料3 (仮称)新九段生涯学習館基本構想検討会 第1回

【議事要旨】

1 開会

(1) 委嘱状交付

(2) 本検討会の目的

2 委員自己紹介

3 委員長の選出

(1) 委員長の選出

- 事務局 資料2「(仮称)新九段生涯学習館基本構想検討会設置要綱」に基づき選出
・委員の互選により、国際基督教大学 教養学部 アーツ・サイエンス学科
教授 佐藤 千津委員が委員長に選出された。
・委員長の指名により、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたとき
は、千代田区文化芸術協会 新井 巖委員が委員長の職務を代理することと
なった。

(2) 会議の公開・非公開について

- ◎委員長 区が開催する会議については、原則、公開だが、非公開とすることが相当と
考えられる議題を取り扱う場合は、検討会において一部非公開とする決定を
することでいいか。

- 委員全員 異議なし

4 議題

(1) 検討会の設置目的について

(2) 策定趣旨

- 事務局 検討会の設置目的や基本構想の策定趣旨について資料3に基づき説明。

(3) 検討会の進め方について

- 事務局 検討会の進め方に関して、検討手順や各回の検討内容、基本構想の主要素、
スケジュールについて説明。

- ◎委員長 「(3) 検討会の進め方」の議題について説明があったが、いかがか。

- 委員全員 異議なし

- ◎委員長 事務局は説明のとおり、検討会を実施すること。

(4) 現施設の状況について

- オブザーバー オブザーバーである九段生涯学習館の指定管理者より現施設の状況について
説明

- ・施設の概要
- ・諸室の配置の状況と利用率、利用実態
- ・主なサービスと機能
- ・運営状況
- ・利用状況

- ◎委員長 現施設の状況について説明があったが、いかがか。

- 委員 今年度登録ができなくなった59団体について、どのような事情で登録がで

きなくなったのか。

オブザーバー 今年度から登録ができなくなった団体については、人数の減少、高齢化などが主な理由で、在学・在勤者の場合は卒業や退職で団体の人数構成が変わってしまったなどが挙げられる。ルール上、継続の意思があっても登録の継続ができないことについては施設運営の課題だと思う。全ての団体について情報を確認したわけではないが、改めて精査して確認したい。

○委員長 現在の生涯学習館利用状況は、コロナ前のピーク時を超える勢いで増加ということだが、どのように分析しているのか。

オブザーバー 登録団体の方々もコロナ禍を受けて、人と人との繋がりなどを活発に行いたいということがあるかと思う。また、一般団体の勢いが出てきているのが活性化につながっているのかと思う。

(5) 九段生涯学習館を取り巻く環境について

●事務局 千代田区の人口等やアンケート結果、社会動向について説明。
生涯学習については、造詣の深い委員長にも講演いただきたい。

◎委員長 生涯学習に係る社会動向について委員長より基調講演

- ・ 今、なぜ「ウェルビーイング」なのか
- ・ 「個」のウェルビーイングから「場」のウェルビーイングへ
- ・ 「人生 100 年時代」のマルチステージと学習観の転換
- ・ これからの生涯学習
 - 「社会」のウェルビーイング 幸福感の転換
 - マルチステージ型人生 学習観の転換
 - 「場」の意味と学びの形

ーこれからの生涯学習ー

生涯学習に関しては、「ウェルビーイング」と「マルチステージ型人生」の考え方に基づくそれへとシフトしている。

1 つ目は「幸福感の転換」について。個人だけの幸せから社会全体の幸せ、つまり「社会のウェルビーイング」を考える方向へと変わりつつある。人々がつながりを持って社会のウェルビーイングを高めることが、結果的に個人の幸福にもつながる。個人と社会が循環的に影響し合う関係を意識することが重要である。

2 つ目は「学習観の転換」。従来の生涯学習は、学校教育を終えた後に学び直す一部の人のものだったが、人生 100 年時代を迎え、あらゆる人が、あらゆる所で学ぶことが当たり前となりつつある。誰もが生涯にわたって学び続ける「学習社会」の実現が目指されている。

3 つ目は「場」の意味と学びの形。身近な地域での学びは、地域課題やコミュニティづくりにも関わる。「場」の重要性が高まる中、自分を取り巻く環境を良くしていくためには、他者とのつながりが欠かせない。生涯学習を通した場づくりを考える中で、千代田区のウェルビーイングを高め、ここで

暮らし働く人たちの幸せにつながるような、新しい生涯学習館の在り方を検討できるとよいと考える。

(6) (仮称) 新九段生涯学習館のめざす姿・基本方針

<テーマ1 「千代田区の良いところ、好きなところ」、「九段生涯学習館の良いところ、好きなところ」について>

- 事務局 これまでの説明等を踏まえて、「千代田区の良いところ、好きなところ」、「九段生涯学習館の良いところ、好きなところ」についてご意見をいただきたい。
- 委員 たくさんある。そのなかでも千代田区は交通の利便性がとても良く、自然・緑が豊かで、文化的なものも多い。
- 委員 九段生涯学習館で活動をしているが、どの程度今までのような形で活動ができるのかということが心配である。
「生涯学習」は本来若年から老年まで対象であるはずだが、リタイアした世代の人が学ぶイメージがあり高齢者の施設と思われてしまう。また、生涯学習館の利用者の年齢が高齢へシフトしているのではないかと感じている。今後は、若い世代の利用を見据えて IT・デジタルを活用できる施設が必要ではないか。
- 委員 千代田区には文化遺産や歴史的建造物が沢山ある。一方でさらなる PR ができるのではないかと思う。
生涯学習館は立地の良さ、交通の便が良いので、その利点を活かしたい。
九段ギャラリーをもう少し活性化できないかと考えている。
また、施設の受付の方々の対応が非常に明るくて、対応も早い。
- 委員 千代田区の良いところはアクセスが良いところ。在勤者の方々にとってもサークル活動で九段生涯学習館を利用しやすく、若い世代の利用者を取り込み活性化へつなげられるのではないか。若い世代を取り込むということが色々な活性化につながると思うので、若い人たちが集えるような場所にしてほしい。
また、現在の生涯学習館の職員の方々が大変良く、対応も早い。
- 委員 千代田区は福祉サービスも充実しており、例えば千代田区ヘルプカードには番号が付与されており、緊急時や災害時、所持者の氏名や連絡先を照会することができ、配慮あるサービスが受けられる。
区内には大学も多く学生街という特徴もある。
週末の九段生涯学習館では子ども連れの利用者も多く、今後が楽しみである。また、職員の方々の窓口対応が良く、施設の使い勝手も良い。
音楽関係については、複数の音楽活動をしている団体が利用できるようなミニホールを希望する声を聞いている。

<テーマ2 (仮称) 新九段生涯学習館のめざす姿や基本方針について>

- 事務局 これまでご説明してまいりました九段生涯学習館を取り巻く環境、千代田区

の人口等、アンケート結果、社会動向、それから、委員長からの基調講演やテーマ1で出た皆様のご意見を踏まえて、(仮称)新九段生涯学習館のめざす姿や基本方針についてのコンセプト、目的や役割についてご意見をいただきたい。

○委員 新九段生涯学習館の施設の規模はどれくらいになるのか。縮小、拡張によって入れ込める内容も変わってくる。

●事務局 確定的なことは申し上げられないが、再開発事業者の組合設立後に各地権者の割当を決定する権利変換が行われる。今のところ、現状と同程度の規模が割り当てられるのではないかと聞いている。

●事務局 再開発で整備する建築物の高さは約170mで、低層階の公共公益施設部分に配置する区有施設については生涯学習館の機能更新を軸に検討していく。今ある建物がどれだけの資産価値があるかを組合の方で算定し、その資産価値を新しく再開発する建物に置き換えるとどれだけの価値があるかというところの権利の変換が令和8年度以降に行われる見込みである。従前の価値がどれだけのものかということが次の再開発ビルで確保される面積に直接関わってくる。従後は既存の生涯学習館の面積を確保できるだろうということを想定して、この場では議論していただきたい。

○委員 新九段生涯学習館には音楽活動で利用できる新しいホールを整備してもらえたらと思っていたのだが。既存のレクリエーションホールは使い勝手は良いが、広さがやや十分でない。

千代田区のことを紹介するときに必ず「歴史と文化の街」と言われる。また、「教育と文化のまち千代田区宣言」で掲げている「歴史に培われた郷土の文化遺産を子どもたちに伝え」とあるが、実は全然伝えていないと思う。新九段生涯学習館ではそうした情報発信の場が必要なのではないか。発信の場を設けるためには、今まで以上の施設規模の拡大が望まれる。

●事務局 権利変換において、従後として現状と同程度の面積となることが想定され、例えば千代田図書館等を再開発建物に配置する可能性について検討していく方針があり、機能の拡充ということも考えられる。

○委員 立地条件は良いので、施設の文化的なものが増えることで若い世代の利用者が増えることになる。

○委員 生涯学習のやり方として、仲間づくりをするというのはもちろんだが、子どもたちの遊び場づくりも取り入れていくべきではないか。サークル数は年々減少し、利用者が高齢化していきいているので活性化は難しい。私としても、利用が少ないと思われる麹町の若者を引き込みたい。

○委員 千代田区には公共・民間の場を含めて、発表する場が少ないことがネックになっている。

○委員 新しい建物については、現況の各室の稼働率を踏まえて施設配置を検討した方がよい。

●事務局 2回目以降の検討会において「導入機能」、「施設の規模」を議論いただく予定である。その際、稼働率についてもご確認いただきながら今後協議していただきたいと考えている。

○委員 「かがやきプラザ」は60歳以上を対象とした、サークル活動もできる施設だと聞いている。九段生涯学習館と機能がかぶる部分があると思うので、新九段生涯学習館はターゲットを若い人たちにした施設にしてはどうか。例えばカフェスペースや運動スペース、シャワースペースなど。

○委員 既存の九段生涯学習館にもシャワー施設はある。

○委員 若い人たちにとって使い勝手の良い、仕事の後に使って、帰宅後そのまま寝られるような、使い勝手の良い仕組みづくりができる施設になればよい。

(7) その他

5 事務連絡

●事務局 次回、第2回検討会は8月14日(木)午後2時開会で決定した。

6 閉会

以上